



広島経済大学 キャリアアップ・プログラム通信(第 243 号)

2019 年 8 月 22 日 配信



◆広島経済大学 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム◆

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

◇広島経済大学 カルチャー講座◇

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

◇キャリアアップ・プログラム講師のルレーコラム◇

「寄附金と正当防衛」

広島経済大学 経済学科 教授

2 学期「初級 法人税」、3 学期「中級 法人税」講師

一橋 信之

法人税で寄附金という概念は独特です。ふつう寄付金というと、社会貢献の心情から慈善団体などに無償で金品を提供することですが、法人税の寄附金というのはこれももちろん含みますが、より重要なのはこれとは別の行為です。それは、慈善博愛からではなく「損得計算」から他者に金品を無償提供する行為です。たとえば、いま援助しておけばいつか将来援助してもらえるかもしれないとか、子会社だから援助しようといった行為です。法人税はこういう行為は課税の対象とします。損得勘定こそが税の源泉となるからです。ところで、寄付というのは一般に「寄付」という漢字を書きますが、法人税では、これに損得計算からの寄付を加えるので「寄附」という漢字が使われています。「付」が慈善の寄付で、コゾトヘン部分が損得計算の寄付に当たり、これらをくっ付けて「寄附」という漢字を使うのだと、若い頃に先輩税理士から説明されましたが、妙に納得したものです。

一つ例をあげましょう。あなたの会社が子会社を持っていて、その子会社が業績不振に陥っているとしましょう。あなたの会社はごく自然にこの子会社に自分の余った金品を無償提供して支援するでしょう。しかし、この支援の額は法人税では経費になりません。親が子に無償援助するのはごく自然な行為であり自由にできますが、税金を減らさずにやってくれということになります。無償提供を受けた子会社に法人税が課税されるのは当然でしょう、ただで得をしたわけですから。親が子に贈与すると子に贈与税がかかるのと同じ理屈です。寄附金課税は、子会社ではなく親会社に対するものです。親会社は無償提供した金品を経費に上げている場合、これを経費と認めず課税所得に加算して法人税を課しますよということです。しかしこれも実は個人の場合と同じです。個人でも、親である個人事業者が子に贈与しても親の事業の経費にはなりませんし(もし経費に上げていたらそれは否認されてその額だけ課税所得が増えます)、親が事業をしていなければそもそも

贈与分は経費としてどこにも上げる場所はありません。

このように損得計算での寄附金には税の網がかかかりますが、寄附金も経費として認められるケースがあります。これは私見ですが、その一つに、正当防衛にあたるような寄附金があげられるのではないのでしょうか。これは、子会社に寄附しなければ親会社自身が危なくなるような場合です。刑法でも、殺人を犯しても、それが自分の生命を守るためにやむなくした場合は罰しないという正当防衛が認められていますが、子会社に寄附しなければ親会社である自分の会社が倒産するような場合に適用されるでしょう。このことは国税庁が出している通達にも記されています。

刑法も所得税も法人税もみな人の頭が考えたルールですから、大変似ています。そのため、法人税も所得税や相続税だけでなく税法以外の法律と比較してみると非常によく理解できます。このつづきは秋の初級法人税、冬の中級法人税でお話ししましょう。

>>次号は、2 学期「実践的広告戦略立案の基礎」、3 学期「実践的広告戦略立案の応用」の講師北野尚人先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

一橋先生おすすめの書籍です。



『あっそうか! ビジネス法人税のちょっと深い話』 明石英司著、中央経済社

ビジネスを取り巻く税金知識には様々な勘違いが都市伝説化しています。ビジネスマンが、押さえておきたい法人税の重要な話に焦点を当て、税務の観点から説明した一冊です。

◇2019 年度 2 学期 開講講座のご案内◇

■「[マーケティングの基礎](#)」

講師:経営学部 経営学科 教授 細井謙一

どのような部署でもマーケティング・センスが求められています。初心者の方にもわかりやすい内容で、マーケティングを基礎から学びます。

★10月21日(月)開始(毎週月曜日全6回)

■「[原価計算論の基礎](#)」(新規科目)

講師:経営学部 経営学科 准教授 藤原久嗣

会計の基礎的理解の上、原価計算の基礎を開設します。コストの視点から経営管理のあり方を考えます。経営知識のない方やシステム開発に携わる方にもおすすめです。

★10月21日(月)開始(毎週月曜日全6回)

■「[BCP\(事業継続計画\)入門](#)」

講師:経営学部 経営学科 教授 岡田斎

BCPとは、事故や災害が発生した際「如何に事業を継続されるか、事業を早急に再開させるか」について対策を考えることです。自然災害の多い日本で、経営者には必要不可欠な知識です。この講座では、BCPの理解と策定に関する基礎知識を解説します。

★10月15日(火)開始(毎週火曜日全6回)

■「[初級 法人税](#)」

講師:経済学部 経済学科 教授 一橋信之

法人税を初歩から学び、社会人としての常識を養います。会計や税法の知識がない人でも楽しく学べる講座です。

★10月15日(火)開始(毎週火曜日全6回)

■「[実践的広告戦略立案の基礎](#)」

講師:メディアビジネス学部 メディアビジネス学科 教授 北野尚人

広告戦略を立案・構築するために必要な知識や視点など、最近のメディア環境と情報環境の変化を踏まえて考えます。具体的な広告戦略の構築も体験していただきます。

★10月16日(水)開始(毎週水曜日全6回)

■「[女性のための投資\(基礎編\)](#)」

講師:経営学部 経営学科 教授 糠谷英輝

入門編での知識を深め、為替相場や株価変動をどう見るか、投資信託をどう選ぶかなど、投資にあたっての実践的な知識を学びます。基礎編からの受講もできます。

★10月17日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[ケーススタディから鍛える経営判断力](#)」(新規科目)

講師:経営学部 経営学科 教授 松川佳洋

企業は、常にチャンスとリスクに直面しています。その時々において企業はどのような経営判断をしてきたのでしょうか？それをケース(事例)から学んでいきたいと思います。

★10月17日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[デジタルマーケティング入門](#)」(新規科目)

講師:メディアビジネス学部 ビジネス情報学科 助教 関隆教

デジタル社会におけるマーケティング・マネジメントに関する初歩的な知識やその背景にある理論を学びます。

★10月18日(金)開始(毎週金曜日全6回)

■「[コーポレート・ファイナンス応用](#)」

講師:経済学部 経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動について戦略的な意思決定を行っていくにはどうしたら良いのかについてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★10月18日(金)開始(毎週金曜日全6回)

カルチャー講座

■「[日本文学と漢詩文～日本文化に潜む漢詩文の痕跡を文学から探る～](#)」

講師:教養教育部 教授 岡本恵子

日本文化に大きな影響を与えてきた漢詩文を取り上げ、それが具体的に影響を与えた日本文学を見ていきます。

★10月16日(水)開始(毎週水曜日全6回)

◆2019年度ひろしまカレッジのご案内◆

教育ネットワーク中国と大学が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか？

2019年度開講講座(1)「中・四国地域特別講義(流通・サービス・製造)」

現代の先進諸国では、どの産業分野でも、サービス経済化、情報技術(IT)化は避けて通れない重要な課題となっています。お招きした先生方にそれぞれの分野でのサービス経済化、情報技術(IT)化に対する具体的な取り組みについてお話しいたします。

第1回:10月8日(火)

【テーマ】フレスタグループの経営戦略

【講義内容】「フレスタ」から講師を招聘し、テーマに沿った講義を行っていただきます。

第2回:10月15日(火)

【テーマ】食品流通・卸売業界の現状と中村角の戦略

【講義内容】「中村角」から講師を招聘し、テーマに沿った講義を行っていただきます。

第3回:10月22日(火)

【テーマ】自動車ビジネスにおけるIT

【講義内容】「マツダ」から講師を招聘し、テーマに沿った講義を行っていただきます。

第4回:10月29日(火)

【テーマ】広島駅の歩みと鉄道のダイヤ

【講義内容】「JR西日本」から講師を招聘し、テーマに沿った講義を行っていただきます。

第5回:11月5日(火)

【テーマ】これからの広告業界

【講義内容】「中国四国博報堂」から講師を招聘し、テーマに沿った講義を行っていただきます。

【時間】14:45～16:15(4時限目)

【会場】〒731-0192 広島市安佐南区祇園5丁目37-1

広島経済大学 1号館 121教室

【交通案内】※学内駐車場のご利用はできません。JR下祇園からのスクールバスをご利用ください

【受講料】無料

【定員】15名(先着順、定員になり次第締め切ります)

※本来は学生対象の講座ですので、学生と一緒に受講となります。

【申込日】令和元年9月2日(月)～9月27日(金) ※先着順

開講講座(2)「日本文学」

テーマは「名言・名場面の舞台裏」です。〈乱世〉を切り口にして古典文学の名言・名場面の舞台裏を考察します。私たちは、名言や名場面と聞くと、あるイメージを思い浮かべるのではないのでしょうか？例えば、明智光秀は積年の恨みを晴らすために「敵は本能寺にあり」と声高らかに叫んで信長を打ち取ったというイメージ。この名台詞が、何十年もあとに付け加えられた創作だとしたら…。さまざまな史実や物語を比較材料に、みなさんと一緒に考えていきましょう。

第1回:11月14日(木)

【テーマ】「困っている敵に塩を送ろう」(上杉謙信)

【講義内容】「困っている敵に塩を送ろう」をテーマに、この名言・名場面の舞台裏を考察します。

第2回:11月21日(木)

【テーマ】「今、撤退するくらいなら、俺は武士を辞める」(徳川家康)

【講義内容】「今、撤退するくらいなら、俺は武士を辞める」をテーマに、この名言・名場面の舞台裏を考察します。

第3回:11月28日(木)

【テーマ】「吾が敵は本能寺にあり」(明智光秀)

【講義内容】「吾が敵は本能寺にあり」をテーマに、この名言・名場面の舞台裏を考察します。

第4回:12月5日(木)

【テーマ】「三本の矢は折れない」(毛利元就)

【講義内容】「三本の矢は折れない」をテーマに、この名言・名場面の舞台裏を考察します。

第5回:12月12日(木)

【テーマ】「生き過ぎてしまった、おめおめと23才まで」(大鳥一兵衛)

【講義内容】「生き過ぎてしまった、おめおめと23才まで」をテーマに、この名言・名場面の舞台裏を考察します。

【講師】教養教育部 教授 長谷川泰志

【時間】13:00～14:30(3時限目)

【会場】〒731-0192 広島市安佐南区祇園5丁目37-1

広島経済大学 1号館 133教室

【交通案内】※学内駐車場のご利用はできません。JR 下祇園からのスクールバスをご利用ください

【受講料】無料

【定員】15名(先着順、定員になり次第締め切ります)

※本来は学生対象の講座ですので、学生と一緒に受講となります。

【申込日】令和元年10月1日(火)～10月25日(金) ※先着順

【申込方法】※開講講座(1)(2)

手順1

講座を受けるためには、受講証が必要です。教育ネットワーク中国に登録の手続きをしてください。

詳しくは <http://www.enica.jp/hiroshima/index.html> を参照してください。

また、教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ事務局」にお問い合わせください。

〒730-0803 広島市中区広瀬北町 9-3(広島修道大学インターナショナルハウス内)

教育ネットワーク中国 「ひろしまカレッジ事務局」

TEL(082)533-7590 FAX(082)533-7591

※なお、すでに受講証をお持ちの方は、再度、登録の手続きの必要はありません。

手順 2

受講証の手続きが終わった方、または、すでに受講証をお持ちの方は、ファックス、または E メールにて、次の(1)～(4)をご記入の上、以下の申込先にお申込みください。

(1)氏名(ふりがな)

(2)郵便番号、住所

(3)電話番号、FAX 番号等

(4)受講証の番号(パスピーの裏の番号)

※電話による申し込みはお受けできませんのでご了承ください。

お申込み・お問い合わせ先

広島経済大学 教育・学習支援センター

TEL(082)871-9345

FAX(082)871-1021

E-mail spt-sc@hue.ac.jp

【ひろしまカレッジ】

http://www.hue.ac.jp/visitors/local/hiroshima_college/index.html

◇2019 年度シティカレッジのご案内◇

教育ネットワーク中国、広島市、公益財団法人広島市文化財団と広島県内の各大学との共催によりシティカレッジ(公開講座)を実施しています。

広島経済大学 2019 年度開講講座

「ゴールデン・スポーツイヤーズ～スポーツイベント～」

今年 2019 年から三年間は、ラグビーワールドカップ(2019)、東京オリンピック(2020)、関西ワールドマスタースターズゲームズ(2021)と、世界規模のスポーツイベントが日本国内で開催される“ゴールデン・スポーツイヤーズ”が始まります。これらスポーツイベントに着目しつつ、あらためてスポーツへの理解を深めてみませんか？

今回の一連の講座では、スポーツイベントを通してスポーツへのかかわりの多様性(する・みる・ささえる・つくる・つたえる)を広島経済大学スポーツ経営学科のスペシャリスト(教員)がわかりやすくご紹介します。

スポーツは、今や、社会的、経済的、さらに文化的にも、私たちの生き方や暮らしに大きく影響を与えています。受講を通して、新たなスポーツ王国広島の未来を切り拓く一助とすべく、スポーツ(イベント)のもつ力

(効果や価値)と一緒に探っていきましょう。

第1回:10月29日(火)

【講師】経営学部スポーツ経営学科 准教授 岡安 功

【テーマ】「ゴールデン・スポーツイヤーズ・メガ・スポーツイベントと広島―(総論:スポーツイベント)」

【講義内容】

メガ・スポーツイベントは、開催都市だけでなく開催国に対しても様々な効果をもたらすといわれています。本講座では、広島の事例も含めながらその効果を概観します。またメガ・スポーツイベントによる街づくりについても考えます。

第2回:11月5日(火)

【講師】経営学部スポーツ経営学科 教授 林 和夫

【テーマ】メガ・スポーツイベントのマネジメント(ビジネス)(つくる・ささえるスポーツ:スポーツビジネス)

【講義内容】

2002FIFA ワールドカップ開催での実体験とともに、ゴールデン・スポーツイヤーズに開催されるメガ・スポーツイベントの大会規模や予算、マーケティング構造、リスクマネジメント、大会後のレガシーなどの話題を現場の声も含め紹介します。

第3回:11月12日(火)

【講師】経営学部スポーツ経営学科 教授 渡辺 勇一

【テーマ】スポーツイベントとメディア(つたえるスポーツ:メディア・スポーツ)

【講義内容】

新聞、放送はスポーツイベントを商業利用し、部数増や収益増を図ってきました。新聞社が仕掛けた高校(中等)野球は100年を超え、プロ野球も80年を経ています。五輪やサッカーW杯は放送権料の高騰という弊害をもたらしています。これら昨今のスポーツ報道事情を解き明かします。

第4回:11月26日(火)

【講師】経営学部スポーツ経営学科 准教授 尾方 剛

【テーマ】オリンピックと私(広島)(するスポーツ:オリンピック)

【講義内容】

4年に一度の祭典、オリンピックが2020年東京で開催されます。私は2008年北京で行われた同大会にマラソン代表として出場しました。

色々な競技が集結し一斉に開催される、言わば世界の大運動会です。アスリートとして培った様々な経験をお伝えします。

【コーディネーター】教養教育部 教授 濱田 敏彦

【時間】18:00～19:30(開場 17:30)

【会場】〒730-0036 広島市中区袋町 6-36 広島まちづくり市民交流プラザ 研修室 C

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/kotsu.html>

【受講料】無料

【定員】50 名

【申込日】10 月 1 日(火)から開始(日時厳守、先着順、定員になり次第締め切ります)

【申込方法】

手順 1

講座を受けるためには、受講証が必要です。教育ネットワーク中国に登録の手続きをしてください。詳しくは、<http://www.enica.jp/hiroshima/index.html> を参照して下さい。

または、教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ事務局」にお問い合わせください。

〒730-0803 広島市中区広瀬北町 9-3(広島修道大学インターナショナルハウス内)

教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ事務局」

TEL(082)533-7590 FAX(082)533-7591

※なお、すでに受講証をお持ちの方は、再度、登録の必要はありません。

手順2

受講証の手続きが終わった方は、または、すでに受講証をお持ちの方は、電話、ファックス、来所にて、

(1)希望講座

(2)氏名(ふりがな)

(3)住所

(4)連絡先(電話番号・ファックス番号等)

を以下の申し込み先にお知らせください。

※郵送(はがき等)による申し込みは受け付けておりません。

お申込み・お問合せ先

公益財団法人広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課

〒730-0036 広島市中区袋町 6-36(広島市まちづくり市民交流プラザ北棟 5 階)

TEL(082)541-5335 FAX(082)541-5611

受付時間

月～金(祝日を除く) 8:30～17:15 まで(来所の場合は 9:30 から)

【シティカレッジ】

http://www.hue.ac.jp/visitors/local/city_college/index.html

◎事務局から◎

2019 年度、キャリアアップ・プログラム、カルチャー講座 随時受講申し込み受付中です！
詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局（082-871-9345）